

## 日本地球化学会 2008 年度 第 3 回評議員会 議事録 (案)

日時：2008 年 9 月 16 日 (火) 13:00～17:45

場所：東京大学駒場キャンパス 12 号館 1211 室

出席者：蒲生俊敬会長，海老原充副会長，石橋純一郎，小畑元，佐野有司，鈴木勝彦，角皆潤，平田岳史，南雅代 (以上幹事)，天川裕史，岩森光，鍵裕之，北逸郎，中塚武，奈良岡浩，野尻幸宏，日高洋，松尾基之，松本拓也，三村耕一，塚本尚義 (以上評議員)

### 1. 2008 年度第 2 回評議員会議事録の承認

### 2. 報告事項

#### (1) 庶務 (小畑幹事)：

【研究助成等】2008 年第 1 回鳥居基金助成，条件付採択の 2 件は共に辞退；2008 年第 2 回鳥居基金助成，応募 1 件，第 16 回日産科学賞推薦 (7.20) 【後援・共催等】共催：Goldschmidt 2008 (バンクバー，カナダ，7.13-18)；第 45 回アイソトープ・放射線研究発表会(7.2-4)，協賛：可視化情報学会全国講演会釧路 2008 (釧路，10.11-12)，日本地熱学会平成 20 年学術講演会 (金沢，10.29-11.1) 【庶務その他】学会賞等賞状・メダル製作 (9.1)；名誉会員証製作 (9.1) 【幹事会】2008 年 9 月 6 日 13:00～17:30 東京大学海洋研究所小講義室 第 3 回評議員会の議事内容について整理した (出席：蒲生・海老原・石橋・小畑・佐野・鈴木・平田・南の各幹事)

#### (2) 会計 (南幹事)：

2008 年度中間決算についての報告があった。

#### (3) 会員 (角皆会員幹事)：

2008 年 5-8 月の会員異動について報告があった。

#### 【入会】

(5 月)

一般正会員

9282519 永石 一弥 カゲイ カズヤ

株)マリン・ワーク・ジャパン OD 科学技術部 高知海洋課

9282530 柏木 洋彦 カシキ ヒロヒコ

学生会員 (学生バック)

9282524 林 和樹 ハシ カズキ

名古屋大学環境学研究科地球環境科学専攻

9282525 高田 未緒 タカミ

東京大学海洋研究所先端海洋システム研究センター

9282526 豊島 考作 トヨシマ コウサク

東京大学海洋研究所先端海洋システム研究センター

9282527 亀田 綾乃 カメダ アヤノ

東京大学海洋研究所先端海洋システム研究センター

(6 月)

一般正会員

- 5282328 井尻 暁 イジリアキ  
独) 海洋研究開発機構地球内部変動研究センター
- 9282531 伊規須 素子 イヰスモトコ  
東京工業大学理工学研究科地球惑星科学専攻
- 9282533 乙坂 重嘉 オサカシゲヨシ  
独)日本原子力研究開発機構原子力基礎工学研究部門
- 9282537 浜田 盛久 ハマダモリヒサ  
京都大学大学院理学研究科地球熱学研究施設
- 9282538 北島 宏輝 キタジマコウキ  
東京大学海洋研究所先端海洋システム研究センター
- 9282539 國清 智之 クニキヨトモユキ  
株式会社ワールド測量設計調査部
- 9282543 河上 哲生 カガミテツオ  
京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻 地質学鉱物学教室
- 9282545 宮崎 雄三 ミヤザキユウゾウ  
北海道大学低温科学研究所
- 学生会員 (学生バック)
- 9282528 柴田 直弥 シバタナオヤ  
東京大学理学系研究科化学専攻 海洋無機化学研究室
- 9282535 小倉 健 コクラケン  
東京大学海洋研究所理学系研究科化学専攻 海洋無機化学分野
- 9282549 児玉 将大 コダママサヒロ  
鹿児島大学理工学研究科地球環境科学専攻
- 9282550 菅原 春菜 スガハラハルナ  
名古屋大学大学院環境学研究科地球化学講座

(7月)

一般正会員

- 9282534 黒田 潤一郎 クロダジュンイチロウ  
独) 海洋研究開発機構地球内部変動研究センター
- 9282541 藤永 公一郎 フジノカウイチロウ  
東京大学工学系研究科システム創成学専攻
- 9282544 加 三千宣 カエミチノブ  
愛媛大学沿岸環境科学研究センター 環境動態解析分野
- 学生会員 (学生バック)
- 9282536 山崎 誠子 ヤマザキセイコ  
京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻 地質学鉱物学教室
- 9282547 森下 和彦 モリシタカズヒコ  
大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻 松田研究室
- 9282548 楠野 葉瑠香 クスノハルカ

立正大学大学院地球環境科学研究科 環境システム学専攻

9282557 筒井 新 ツツイ シン

九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻 有機宇宙地球化学研究室

9282559 江里口 和隆 エリグチ カズタカ

九州大学大学院理学府化学部門 反応分析化学研究室

(8月)

一般正会員

9282554 柏山 祐一郎 カシヤマ ユウイチロウ

独立行政法人海洋研究開発機構地球内部変動研究センター

9282567 田上 高広 タカミ タカヒロ

京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻 地質学鉱物学教室

9282569 小豆川 勝見 ショウスガカリ カツミ

東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻

9282570 齊藤 敬 サイトウ タカシ

大阪大学安全衛生管理部

学生会員 (学生パック)

9282556 大木 誠吾 オキ セイゴ

九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻 無機生物圏地球化学研究室

9282558 城谷 和代 シロヤ カズヨ

東京大学理学系研究科地球惑星科学専攻 横山祐典研究室

9282560 増川 恭子 マスカワ キョウコ

筑波大学生命環境科学研究科地球進化科学専攻 林研究室

9282562 牛江 裕行 ウシエ ヒロユキ

東京大学海洋研究所海洋底科学部門 海洋底テクトニクス分野

9282564 伊佐 純子 イサ ジュンコ

首都大学東京大学院理工学研究科分子物質化学専攻 宇宙化学研究室海老原教授

9282565 吉崎 もと子 ヨシザキ モトコ

東京工業大学理工学研究科地球惑星科学専攻

9282576 櫻井 晴子 サクライ ハルコ

東京大学大学院理学系研究科附属地殻化学実験施設

【退会】

(5月)

なし

(6月)

なし

(7月)

一般正会員

9281688 中森 亨

学生正会員

282293 浅田 陽一

(8月)

なし

【会員種別変更】

(5月)

なし

(6月)

会員番号	会員名	変更前	変更後
9282290	宮入 陽介	学生正会員	一般正会員

(7月)

会員番号	会員名	変更前	変更後
282259	戸丸 仁	学生正会員	一般正会員
7281240	今村 峯雄	一般正会員	シニア正会員
9282367	上原 倫子	学生正会員	一般正会員
9282376	大塚 高弘	学生正会員	一般正会員

(8月)

会員番号	会員名	変更前	変更後
9282407	川島 龍憲	学生正会員	一般正会員

2008年8月31日現在の会員数

	正会員	(一般)	(学生) 通常	(学生) 学生パック	(シニア)	賛助 会員	名誉 会員	計	(海外 会員)
2008/4/30	913	(758)	(60)	(40)	(55)	11	9	933	(39)
入会		+17		+20					
退会		-1	-1						
種別変更		+4	-5		+1				
自動移行									
海外へ移住									+1
海外より帰国									-2
2008/8/31	948	(778)	(54)	(60)	(56)	11	9	968	(38)
参考 2007/7/31	941	(761)	(62)	(61)	(57)	11	12	960	(40)

(4) 編集 :

a. GJ(佐野幹事) : 1月から, Vol. 42 の No. 1-4 までが予定通り発行され, No. 5 は 10月 No. 6 は 12月に発行の予定であるとの報告があった。1月から9月12日までに77編の論文が投稿され, 受理及びほぼ受理された論文が7編, 却下された論文が27編, 審査中の論文が39編, AE選考中の論文が4編あることが報告された。

- b. 地球化学 (益田幹事) : 2008 年度の編集状況について、1-3 号まで予定通り発行されたことが報告された。2008 年度では 11 編の報文を受け付け、うち 2 編が受理、8 編が審査中、1 編が却下となっている。総説は 3 編を受付、うち 2 編を受理し、1 編を審査中である。その他として、追悼記事を 2 編受付、受理した。
- c. ニュース (石橋幹事) : ニュースレターNo.194 を発行し、ニュース電子メール版 2008No. 69-111 までの 42 件を発信したとの報告があった。また、ニュースレターNo.195 の編集予定が示された。
- (5) 広報 (鈴木幹事) : ホームページのフロントページの更新について報告があった。AOGS (釜山), Goldschmidt 会議 2008 (バンクーバー), 国際隕石学会 (松江)において、学会のパンフレット, GJ Express Letter のチラシ, GJ の CD-ROM を配布する等、広報委員会を中心に行った広報活動について報告があった。また、新たな試みとして、年会におけるハイライト講演をプレス発表することが報告された。さらに、地球化学会からの講師派遣についても検討中であるとの報告があった。
- (6) 行事 :
- a. 2008 年 日本地球惑星科学連合大会(平田幹事) : 日本地球惑星科学連合 2008 大会(5.25-30, 幕張メッセ国際会議場)についての報告があった。
- b. 2008 年 ゴールドシュミット国際会議(平田幹事) : Goldschmidt 国際会議 2008 (7.13-18, バンクーバー・カナダ) についての報告があった。日本地球化学会のパンフレットを会議参加者バッグに入れ配布するとともに、Exhibition ブースが設置された。また、プレナリーセッションで、蒲生会長から GJ 賞が浜田盛久会員に授与されたことも報告された。2009 年はダボス (スイス) にて 6/22-26 の期間に開催予定。
- c. 2008 年日本地球化学会年会準備状況(松尾評議員) : 2008 年の日本地球化学会第 55 回年会について、組織委員長 (代表者) の松尾基之評議員から報告があった。セッション数 28, 講演申し込み数は 422 件(招待 64, 口頭 260, ポスター 98 件) となった。口頭発表は A~F の 6 会場で行うこととなったことが報告された。
- d. 第 3 回ショートコース(平田幹事) : 第 3 回ショートコースについての報告があった。定員 50 名のところ、58 名の参加があったことが報告された。
- (7) 各種委員会 :
- a. 鳥居基金選考委員会 (野尻評議員) : 2008 年度第 2 回鳥居基金に 1 件の申請(海外渡航 1 件) があり、中村英人会員(北海道大学大学院理学院)の海外渡航(24th International Meeting on Organic Geochemistry, ブレーメン, ドイツ)を採択した。また、今後の基金のあり方については、委員会で議論を深めることとなった。
- b. 名誉会員推薦委員会 (海老原名誉会員推薦委員会委員長) : 名誉会員推薦委員会において議論した結果、杉崎隆一会員、綿抜邦彦会員を名誉会員候補者として推薦することとなった経緯について報告があった。また、8 月に行われた評議員による投票の結果、両会員を名誉会員候補者とする事が決まったことも報告された。
- c. 将来計画委員会(海老原将来計画委員会委員長) : メールベースによる将来計画委員会の議論が紹介された。GJ については、電子会員制度を積極的に推進すること、ハード版と電子版パスワードの両方を取得する会員については、何らかの対策を講じること、ページチャージについても積極的に推進すること等の意見があったことが報告された。また、夜間集会の議論

の予定についても説明があった。

- d. 「地球と宇宙の化学事典」編集委員会(蒲生会長)：全体の構成，章の構成についての説明があった。地球史(鈴木)，古環境(南川)，海洋(蒲生・田上)，海洋以外の水(益田)，地表・大気(植松)，固体地球(岩森・中井)，資源・エネルギー(篠原・石橋)，地球外物質(海老原・平田)，環境(高橋)という構成となり，それぞれの編集委員が担当する。

(8) 連合関係：

- a. 日本地球惑星連合(蒲生会長)：鍵裕之評議員が新たに情報局委員となることが報告された。また，2008年度合同大会の日本地球化学会関連のセッションは，「固体地球化学・惑星化学」，「非質量依存同位体効果：新しい同位体地球化学に向けて」，「大気化学」，「水循環・水環境」，「火山の熱水系」であることが報告された。但し，全てのセッションを把握できているかは，不明である。2009年度合同大会では「水循環・水環境」セッションの地球化学会からのコンペナーが，杉本敦子会員から長尾誠也会員に交替することが報告された。
- b. 日本化学連合関連(蒲生会長)：日本化学連合評議員は蒲生会長が務め，日本化学連合理事は海老原副会長が務めることが報告された。

(9) IAGC 関連(海老原副会長)：

2008年9月1日から益田晴恵会員が，IAGCの新councilメンバーとなることが正式に決まり，任期は2012年までの4年間であるとの報告があった。また，第20期の日本学術会議小委員会活動の総括と取りまとめが行われ，第21期の存続希望は「あり」と回答したとの報告があった。

(10) その他：

小畑庶務幹事から，2007年度総会で承認された会則の変更点が示された。蒲生会長より，京都大学化学研究所・東京大学地震研究所の「共同利用・共同研究拠点認定」に対して，学会として要望書を提出することが報告された。また，テラ学術出版から，Geochemical Journalの販売価格を2009年度より再設定したい(Hard copy: US\$ 290; Online Version: US\$ 290; Hard copy+Online Version, US\$ 435)との申し入れがあったことが紹介された。さらにGJ冊子体の要・不要について，希望調査を実施中との報告があった。

3. 審議事項

(1) 2007年度事業報告・2008年度事業中間報告・2009年度事業計画：

2007年度事業報告・2008年度事業中間報告・2009年度事業計画が小畑庶務幹事より示され，総会において承認を受けることが認められた。

(2) 2007年度決算報告・2008年度会計中間報告・2009年度予算：

2007年度決算報告・2008年度会計中間報告・2009年度予算が南会計幹事より示され，総会において承認を受けることが認められた。

(3) 2008年度総会議事次第：

2008年度総会における議事次第が小畑庶務幹事により示され，承認された。

(4) 委員の選挙：

2009年度の学会賞等選考委員会，鳥居基金委員について，一部改選が行われた。投票の結果，学会賞等選考委員には海老原充会員，佐野有司会員，鍵裕之会員が選ばれ，鳥居基金委員には平田岳史会員が選ばれた。

(5) 会長経験者逝去に際しての学会の対応：

海老原副会長から、「名誉会員および会長経験者が逝去した際には、「地球化学」誌に遺影および追悼文を掲載する」ことを申し合わせ事項とすることが提案され、承認された。

(6) 名簿号の発行について (蒲生会長)：

国際文献印刷より提供される MyPage というインターネット上のサービスを今後利用していくことが承認された。名簿号の発行については、今後議論していくこととなった。

(7) 年会における学生講演賞について：

年会においてここ数年、学生のポスター発表を年会実行委員会が顕彰しているが、この賞を学生講演賞及びポスター賞として学会が授与してはどうかという提案が、松尾評議員、鍵評議員から行われた。具体的にどのような形が良いか、今後具体的に検討していくこととなった。

(8) 「はやぶさ 2」に関する学会声明文について：

小惑星サンプル回収方法として成功した「はやぶさ方式」を継続的に実施するため、声明文を学会から発表することが塚本評議員から提案された。今後、塚本評議員が作成する声明文を評議員会で検討することとなった。

(9) その他：

小畑庶務幹事から、学会誌について、1年経過した巻・Volumeについては各50冊ずつ、2-3年経過した巻・Volumeについては各20冊ずつ、4年以上経過した巻・Volumeについては各10冊ずつ国際文献印刷で保管することが提案され、承認された。

**【今後の予定】**

2009 年第 1 回幹事会：2 月 7 日(土) 海洋研究開発機構 東京事務所(新橋) 13:00 から

2009 年第 1 回評議員会：2 月 14 日(土) 海洋研究開発機構 東京事務所(新橋) 13:00 から